

流域モニタリング一斉調査結果（東三河地域）

1 背景

- ・県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成 19 年 7 月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を平成 21 年度から実施しています。
- ・この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

2 参加者公募状況

- ・幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）が 3 月に参加者募集の記者発表を行いました。
- ・また、市町村宛に、この調査の参加者を公募するよう依頼を行いました。
- ・その結果、44 の市町村が、広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	ちらし	広報+ホームページ 広報+ちらし 広報+ホームページ+ちらし	その他	合計
尾張地域	8	5	2	5	0	20
西三河地域	9	1	1	6	0	17
東三河地域	3	1	1	2	0	7
合計	20	7	4	13	0	44
参考(平成 26 年度)	23 (3)	6 (1)	2 (0)	8 (1)	0	37 (5)
参考(平成 25 年度)	21 (4)	5 (1)	5 (1)	9 (1)	1 (0)	41 (7)

括弧内は、東三河地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

「流域モニタリング一斉調査」参加者募集

流域モニタリング一斉調査とは、森から海までの河川流域全体を視野に入れ、水が循環する状況を把握するため、流域の水環境の状況を県内全域で調査するものです。

※6月5日(環境の日)から9月末まで(この期間以外に時期をずらして調査することも可能です)

※身近な水辺(河川、水路、ため池など)で「水質」、「水量」、「生態系」、「水辺の親しみやすさ」について調査・報告を行います。

※2人以上のグループでお願いします。

※子どもだけの調査は危険なため、保護者と一緒に参加してください。

※調査地点までの交通費は自己負担です。

※7月10日(金)まで

④申込書(環境課窓口や市ホームページ)にあります。必要事項を記入し、郵送、ファックス、Eメールなどでお申し込みください。

⑤環境課
☎23・7977
✉kankyou@city.shinshiro.lg.jp

広報しんしろ 5月号

流域モニタリング一斉調査参加者

▼対象 市内の2名以上で構成するグループ(中学生以下の子どもを含む場合は保護者同伴) ▼調査期間 6月5日(環境の日)から9月下旬 ▼内容 身近な水辺(河川・湖沼・海・水路・ため池など)で水質、水量、生態系などを調べて調査結果を報告 ▼参加料 無料 ▼主催 尾張・西三河・東三河地域水循環再生地域協議会 ▼申し込み 5月15日(金)までに環境政策課の窓口にある参加申込書に必要事項を記入のうえ提出

▼環境政策課
☎23局3541 FAX23局0180

広報たはら 4月15日号

3 参加の状況について

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	11	63	660	88
西三河地域	11	55	443	106
東三河地域	5	9	104	19
合計	27	127	1,207	213

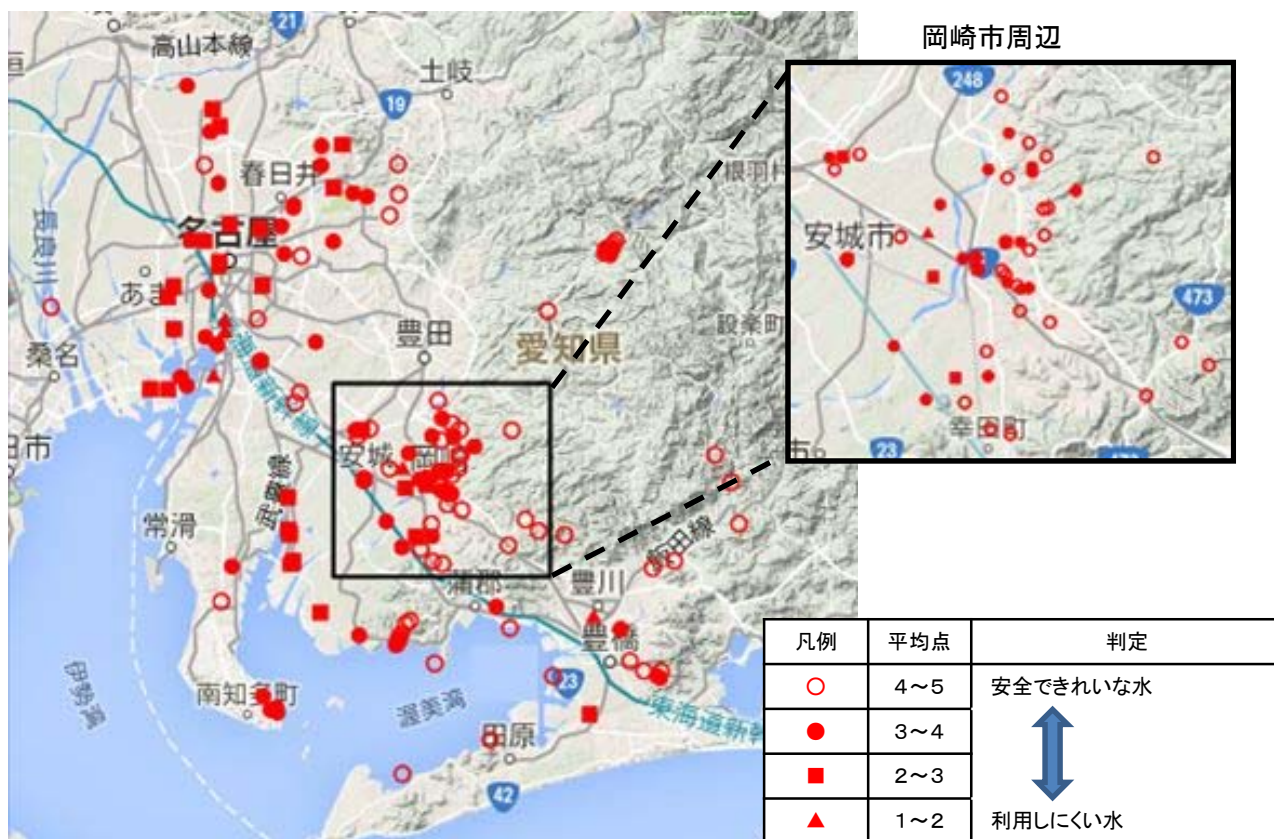
参考(平成26年度)	16(3)	120(5)	691(119)	146(10)
参考(平成25年度)	21(4)	103(4)	913(104)	141(11)
参考(平成24年度)	22(6)	141(9)	1,002(190)	230(14)
参考(平成23年度)	22(5)	134(5)	860(128)	256(14)
参考(平成22年度)	25(2)	103(9)	1,000(67)	210(12)
参考(平成21年度)	25(4)	83(7)	884(73)	287(8)

伊勢湾流域圏一斉モニタリング(中部地方整備局)、水質環境目標値市民モニタリング(名古屋市)の数値を含む。
括弧内は、東三河地域の数を示す。

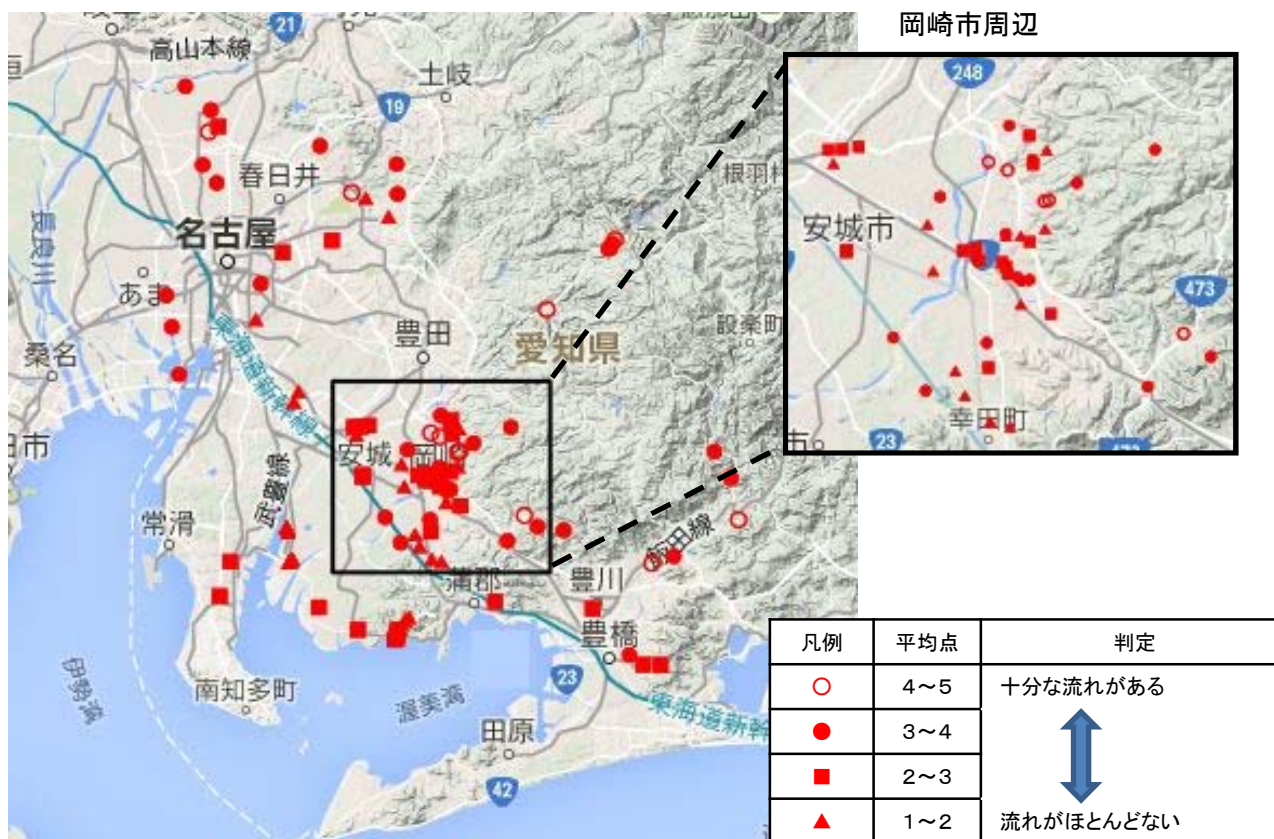
4 調査結果

- ・参加団体数、延べ参加人数及び延べ調査地点数は、昨年度より増加しました。
- ・流域別の傾向については、豊川・天竜川流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となりました。
- ・相対的に大きな流域ほど水がきれいで、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。

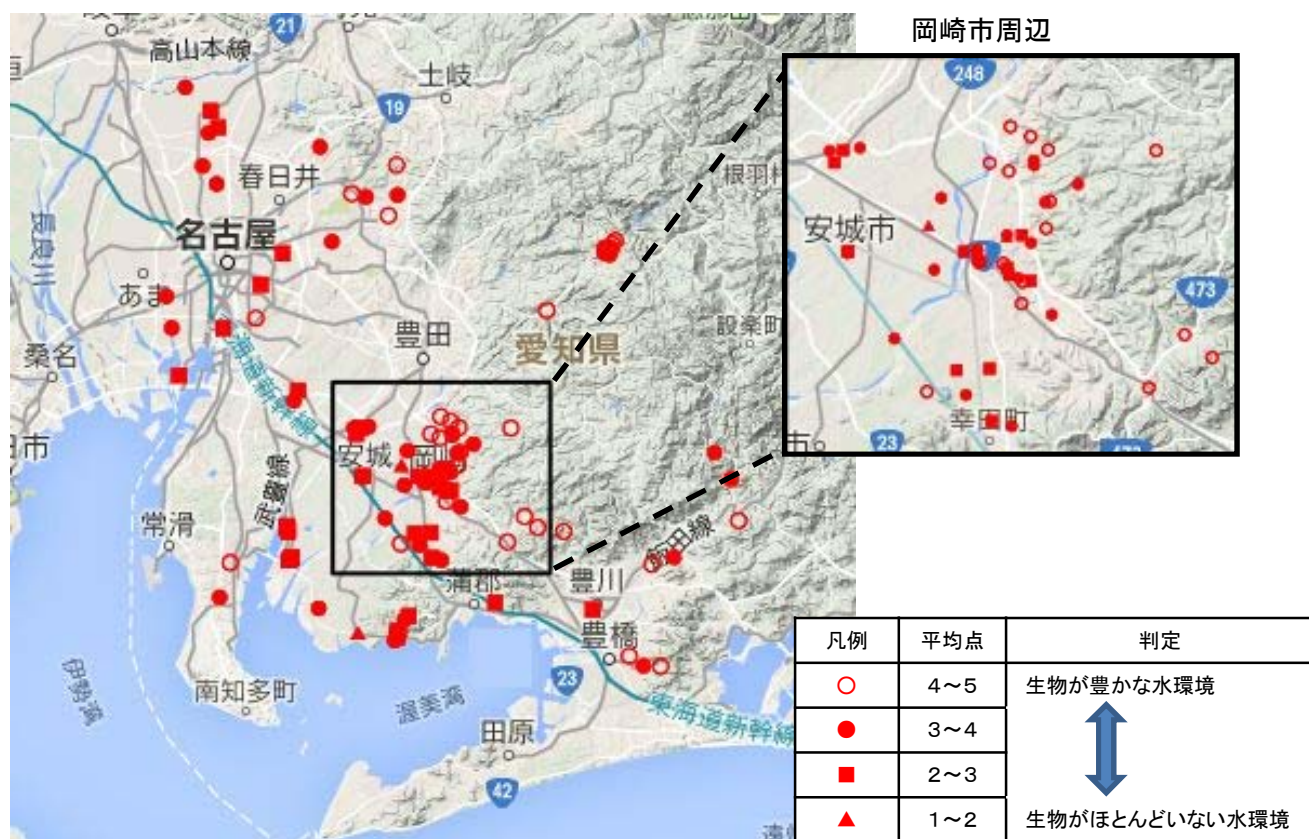
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



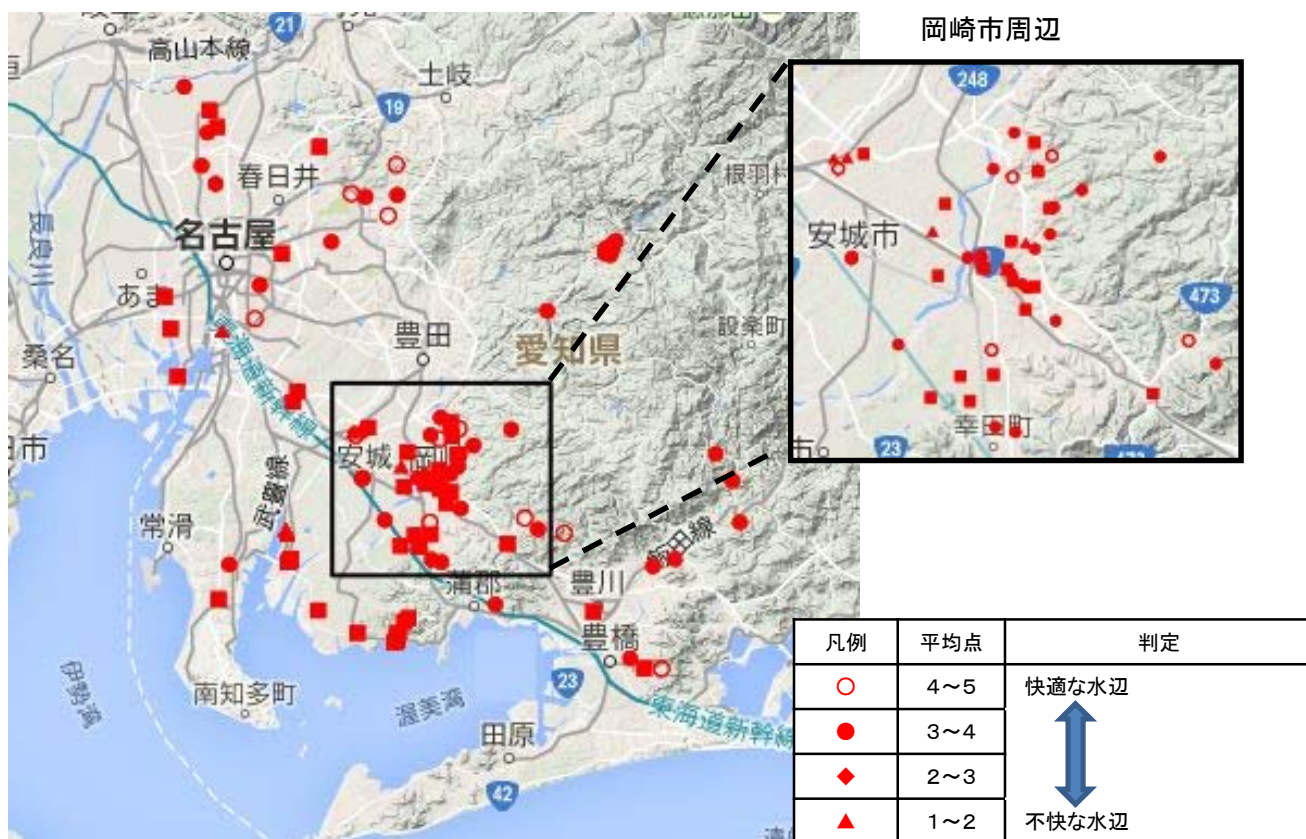
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



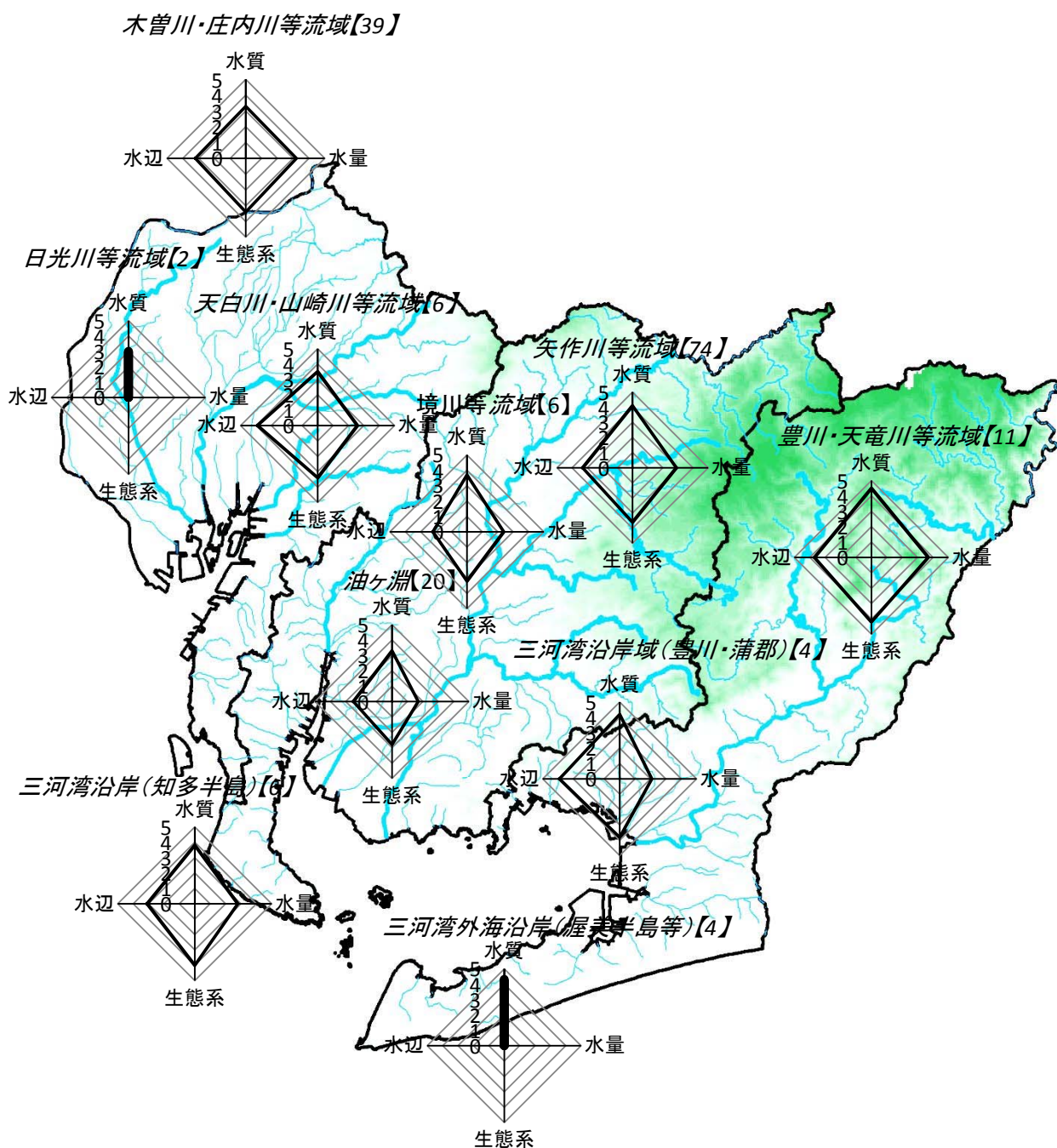
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



調査項目は参加者の任意であるため、日光川等流域及び三河湾外洋沿岸（渥美半島等）は、水質の評価のみとなっています。